**天生湿原で癒しのひととき**

**～トトロに出会えるかも～**



* + [天生県立自然公園Amou](http://hidamoriaruki.com/map/amou/)
  + [池ケ原湿原Ikegahara](http://hidamoriaruki.com/map/ikegahara/)
  + [深洞湿原･原生林Fukado](http://hidamoriaruki.com/map/fukado/)
  + [大白川Ooshirakawa](http://hidamoriaruki.com/map/ooshirakawa/)
  + [三方岩岳Sanbouiwadake](http://hidamoriaruki.com/map/sanbouiwadake/)
  + [小白木峰･白木峰Koshirakimine](http://hidamoriaruki.com/map/koshirakimine/)
  + [安峰山Anbou](http://hidamoriaruki.com/map/anbou/)
  + [北ノ俣岳Kitanomatadake](http://hidamoriaruki.com/map/kitanomatadake/)
  + [猪臥山Ibushi](http://hidamoriaruki.com/map/ibushi/)
  + [奥飛騨数河流葉県立自然公園Okuhidasugonagareha](http://hidamoriaruki.com/map/okuhidasugonagareha/)
  + [天蓋山Tengai](http://hidamoriaruki.com/map/tengai/)
  + [観音山Kannon](http://hidamoriaruki.com/map/kannon/)
  + [天生の森サポーター倶楽部Amounomori-supporter-club](http://hidamoriaruki.com/amounomori_supporter_club/)
  + [自然ガイドのご案内Guide](http://hidamoriaruki.com/about/guide/)
  + [案内人紹介](http://hidamoriaruki.com/interpreters/)
  + [森歩きの持ち物リストEquipments](http://hidamoriaruki.com/faq/equipments/)
  + [交通情報](http://hidamoriaruki.com/topics/trafficinfo/)

[](http://hidamoriaruki.com/wp/wp-content/themes/hidamoriaruki/assets/images/contents/amou/new_amou02_big.jpg)**五感で大地の息吹を感じる、樹木と花の楽園。**

**一年の半分を雪に閉ざされる天生峠は、飛騨市河合町と大野郡**

**白川村の境で、泉鏡花の小説「高野聖」や東山魁夷画伯「山雲」**

**の舞台になっています。  
この峠を中心に、高山植物群、高層湿原、ブナ原生林、深淵な**

**渓谷など雄大な自然を体感できます。**

**夏の天生湿原**

**雪解け直後の6月から9月中旬頃まで四季折々の花々に出会**

**えます。**「HP引用」　※当日、マスク着用・熱のある方はご遠慮ください。



**シラヒゲソウ**

**ウメバチソウ**

**ブナ原生林**

**期日：８月９日（日曜日）**

**時間：AM６時３０分　江名子小学校　集合**

**定員：２０名・〆切：７月３１日**

**参加費：小学生以上３,５００円（幼児無料）**

**籾糠山コース　（約６時間）予定**

1. 登山口（8：30）･･･カラ谷分岐（9：15）･･･木平分岐（9：50∼10：00）･･･山頂（10：50∼11：15）･･･木平湿原・昼食（11：35∼12：00）･･･カラ谷分岐（13：00）･･･休憩所（14：00）…登山口（14：35）

**木平湿原周遊コース（約４時間30分）予定**

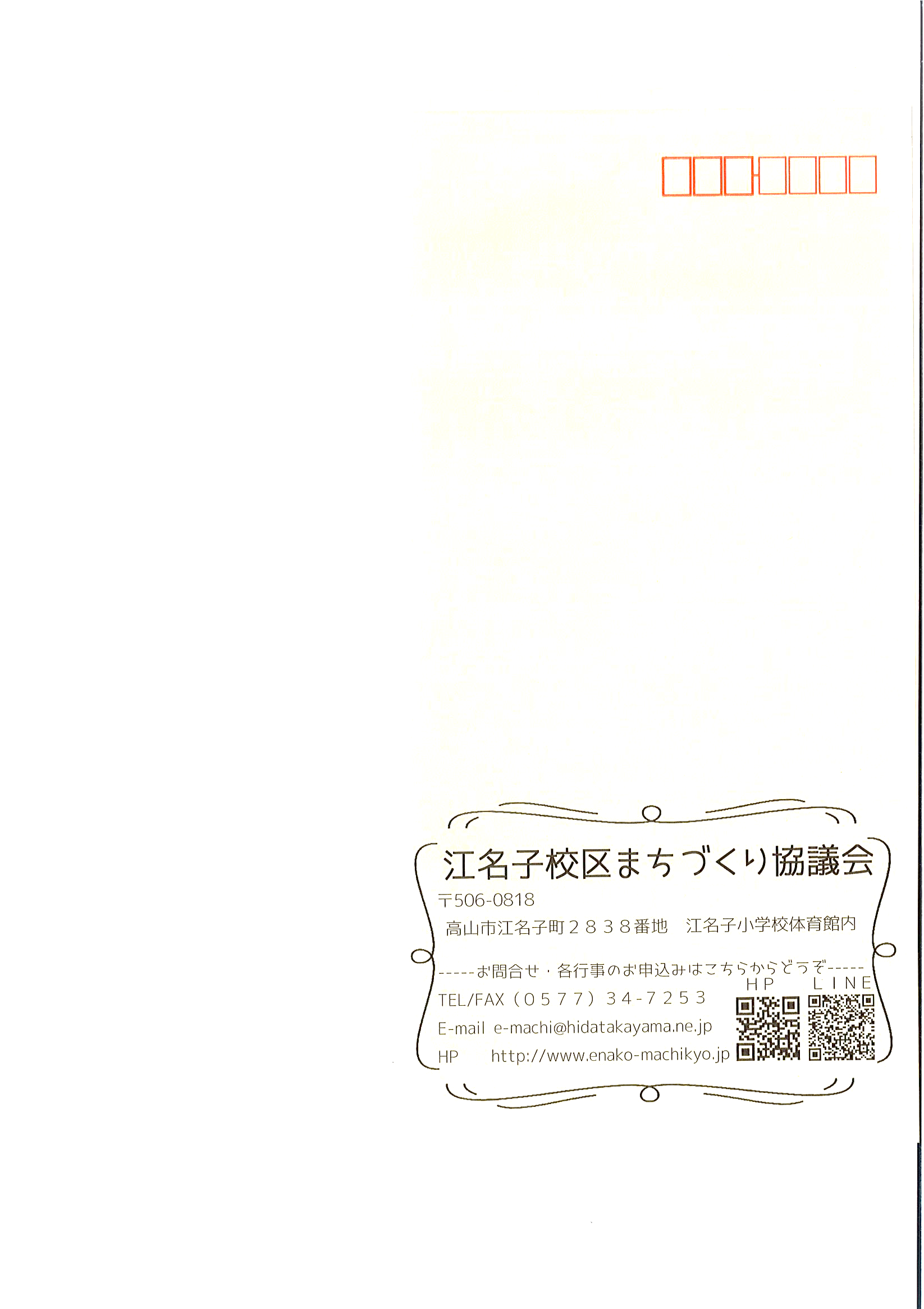
1. 登山口（8：30）カラ谷分岐（9：15）･･･木平分岐（9：50∼10：00）･･･木平湿原（10：35∼55）･･･カラ谷分岐（12：00）…休憩所・昼食（12：10∼13：00）･･･登山口（13：40）

申込み書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| お名前 |  |  |  | 年令 | 住　所 |  |  |  |
| お名前 |  |  |  | 年令 | 連絡先 |  |  |  |
| お名前 |  |  |  | 年令 | 備　考 |  |  |  |

**お申込み・お問い合わせは　江名子校区まちづくり協議会へ**

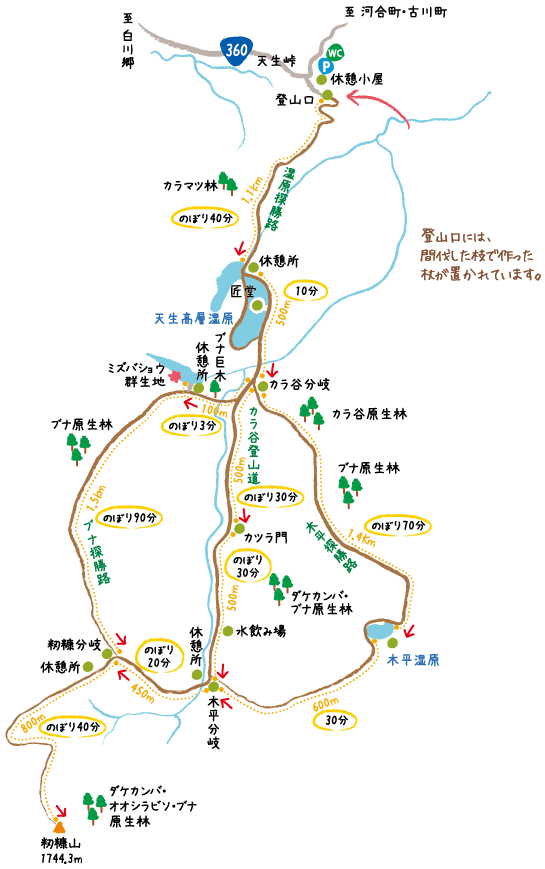
ＨＰ



ＬＩＮＥ

**Tel/Fax　３４－７２５３　　ｅ-mail**[**e-machi@hidatakayama.ne.jp**](mailto:e-machi@hidatakayama.ne.jp)

* 定員を超えた場合は抽選とさせて頂きます。

**ウォーキングマップ**

**天生の花ごよみ 秋**

【概要】 1998年（平成10年）4月1日に、周辺の山域は岐阜県により天生県立自然公園に指定された。ぎふ百山のひとつである 。国道360号の天生峠から、山頂へは中部北陸自然歩道の登山道（遊歩道）が整備されている。ブナやオオシラビソなどの原生林や高層湿原（天生湿原、木平湿原、ミズバショウの群生地）を通るコースがある。ブナ、カツラ、サワグルミなどの原生林にはツキノワグマなどが生息する。山頂は鋭く尖った円錐形の小ピークで、狭い山頂には三等三角点（点名が「籾糠山」）が設置されている。山頂から南南東に御嶽山、東に飛騨山脈、北に飛騨北部の山並みを望むことができるが、白山は猿ヶ馬場山に隠れて見えない。神通川水系小鳥川の支流である金山谷の源流の山である。この金山谷では江戸時代初期から天生金山が開かれ、昭和初期まで金、銀、銅、亜鉛などが採掘されていた。

籾糠山は飛騨高地の中央部に位置する山で、山名は飛騨の匠伝説に由来する。飛騨の匠伝説とは――  
～麓の月ヶ瀬の里に住む娘が、川面に映った月を掬って飲むと身ごもって男の子生まれた。この子が作った人形が田畑を耕し、この田畑で実った稲の籾糠の籾殻が積もったのが籾糠山、田んぼの跡が天生湿原となった。のちの男の子は日本一の匠となった～

という伝説だ。  
登山口となる天生峠への峠道は、明治時代の小説家の泉鏡花の『高野聖』の舞台となった道で、かつては昼でも暗いうっそうとした森林に覆われていたが、今はその姿をとどめていない。それでも岩山、樹林、渓谷、滝などが凝縮した景色は、峠の西側に今もわずかに見ることができる。  
登山道は広い範囲でブナ林が残され、渓流、湿原、花、眺望をすべて備えた素晴らしい山となっている。

飛騨高地にある山で、天生（あもう）県立自然公園に属します。『ぎふ百山』のひとつになっています。国道360号線の「天生峠」から登山道が出ています。原生林と湿原を巡るコースが幾つかに分岐していて、遊歩道的な登山道になっています。山頂部分は、鋭く尖った小さなピークです。南西側のそばに飛騨高地最高峰の「猿ヶ馬場山」があるため「白山連峰」の眺望はありませんが、東側の眺望では、北アルプスから御嶽山まで見渡せます。　天生峠の駐車場に、登山口（天生湿原の入口）があります。シーズン中は、協力金徴収の受付が設置されます。森林環境推進協力金（一人500円）です。登山道の分岐点の3ヶ所に、テントの携帯トイレ用ブースが設営されています。まず、北側に位置する天生峠から「天生湿原」周回コースに進みます。天生湿原の南側までが、湿原の散策路で、南側の分岐以降の道が籾糠山登山道になります。最短ルートが「カラ谷登山道」です。登山道の初めの部分で、左右に「木平（きだいら）探勝路」と「ブナ探勝路」に分かれています。最短ルートは片道4km・標高差450mのコースです。距離の割には標高差の少ない登山ルートになります